総合計画シリーズⅠ

第1次伯耆町総合計画決定!!

「森と光が織りなすうるおいのまち 共生と交流の伯耆町」

（サブテーマ）～誇りと愛着のもてるまちづくり～

計画の概要をシリーズⅠ,Ⅱ（2カ月間）に分けて紹介します。

この総合計画は、本町が初めて策定する総合計画で、町の最上位計画に位置付けられています。町が今後の十年間で目指す将来像やまちづくりを明示しており、各種部門計画を策定・実施していく際の基本となるものです。

総論、基本構想、基本計画により構成されています。

図1 計画の期間

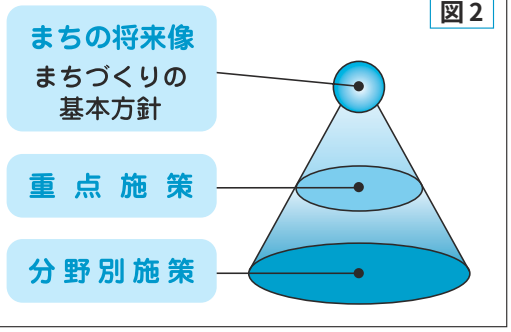
年度	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
基本構想	←→									
基本計画	←→ 前期計画					←→ 後期計画				

基本構想

一、施策の構成

図2のように、重点施策と分野別施策の総合的な推進を図り、まちづくりの基本方針に基づく、まちの将来像の実現を目指します。

図2



二、まちの将来像

図2の中で頂上に位置しており、町が目指す将来像のことです。本町の将来像は、合併まちづくり計画の精神を継承し、次のとおりとします。（図3）

図3

まちの将来像

森と光が織りなすうるおいのまち　共生と交流の伯耆町

（サブテーマ）　～誇りと愛着のもてるまちづくり～

まちの将来像の考え方：森と光が織りなすうるおいのまちは「自然と人が調和しながら、暮らす安らぎと訪れる楽しさが実感できる地域」という意味を表現し、共生は「環境と暮らしの共生」、「安全な食と農の循環」「共に支えあう安らぎ」を大切にするまちを表します。交流の意味するところは、「住民と来訪者の交流」「交流を通じた産業活動」「ふれあいを通じた人づくり」を大切にするまちづくりを表しています。

サブテーマの考え方：住民一人ひとりが誇りと愛着がもてるまちづくりは、町内外への情報発信や交流を生み、訪れる人たちにも魅力を感じてもらえるまちになることを目指しています。

三、まちづくりの基本方針

まちの将来像を実現していくために、まちづくりの基本方針として次の五つを掲げます。（図4）

図4

まちづくりの基本方針

- 住みよさを感じるまち
- 地域産業を育むまち
- 豊かな心が育つまち
- 健康で安心して暮らせるまち
- 住民と行政による協働のまち

①住みよさを感じるまち

生活の利便性や快適性など定住環境の一層の整備を図り、住民が自然や環境に対する高い意識を持ち、日常生活や地域活動を通じて自然を守り、活かす取り組みを推進して、自然の恵みの豊かさや精神的なゆとりを実感できるまちを目指します。